

2014年4月4日 1/3 page

5月27日開催 分野を超えて活躍するアーティスト達が共演する文化イベント 川の町でミーティング・野外篇『ブレス・パッセージ2014』

たなか みん カン・テファン なかむら たつや
田中浜(ダンス)/姜泰煥(アルト・サクソ)/ジム・オルーク(ギター、他)/中村達也(ドラム)
 うえだ そうこう ヴィヴィッド ノーバ
上田宗篁(上田宗箇流・若宗匠)/コール・ビビッド&安田女子大学合唱研究会 Vivid Nova

オリエンタルホテル広島(所在地:広島県広島市中区田中町6-10 総支配人:荒木潤一)は、2014年5月27日(火)、広島市東区の饒津(にぎつ)神社境内にて開催する文化イベント「川の町でミーティング・野外篇『ブレス・パッセージ2014』」(チケット:前売3,500円/当日4,000円)に特別協賛いたします。

オリエンタルホテル広島が主催して2009年3月にスタートした、分野を超えて活躍するアーティストが共演する文化イベント「川の町でミーティング」。今回は、主催に実行委員会を発足し、野外にて開催。個性的な6名のアーティストが出演し、＜音楽と踊りと言葉＞が交錯する特別イベントとしてお届けいたします。

広島は、江戸時代、浅野長晟が安芸国初代広島藩主として入城後、城下町として繁栄させ、多くの文化芸能が盛んな町でした。しかし原爆により、活気溢れる町は廃墟となりました。2015年の被爆70年、2019年の浅野入城400年を関連付け、本当の意味で復興できるよう、現在の広島への祈りを込めた舞台をお届けいたします。会場は、浅野長晟を祀り、被爆建物でもある饒津神社の境内です。出演は、「ブレス・パッセージ」と名付けた共演ユニットで注目を浴びる、ダンサー・田中浜と韓国サクソの至宝・姜泰煥の他、グラミー賞受賞のギタリスト・ジム・オルークと、俳優としても個性を發揮するドラマー・中村達也。浅野家との繋がりが深い上田宗箇流にも協力を得て、武士が野点の後出陣したように、出演者が一服の茶の後、奉納の舞台に上がります。

伸びやかな表現力を持ったアーティスト達が共鳴し合う、野外ならではの迫力あるステージをお楽しみください。

川の町でミーティング・野外篇 『ブレス・パッセージ2014』

- 開催日: 2014年5月27日(火)
- 時間: 開場18:00/開演18:45(ライブ19:15)
- 会場: 饒津神社 境内(広島市東区二葉の里2-6-34) ※雨天決行
- 料金: 前売 **3,500**円 / 当日 **4,000**円(税込) ※自由席
- チケット販売: チケットぴあ TEL.0570-02-9999 (Pコード229-038) 発券4/5
ローソンチケット TEL.0570-084-006 (Lコード62276) 発券4/1
- 予約・問い合わせ先: オリエンタルデザインギャラリー
TEL.082-240-9463 (11:00~20:00受付)
- 出演: 田中浜(ダンス・俳優)/姜泰煥(アルトサクソ)
ジム・オルーク(ギター、他)/中村達也(ドラム)
上田宗篁(上田宗箇流・若宗匠)
コール・ビビッド&安田女子大学合唱研究会Vivid Nova(合唱)
- 企画構成: 大木 雄高(ビグトリイ)
- 協力: 饒津神社
- 特別協賛: オリエンタルホテル広島
- 後援: 広島市/広島市教育委員会/(財)広島市未来都市創造財団/(公財)上田流和風堂
中国新聞社/中国放送/広島エフエム放送/ひろしまケーブルテレビ
- 主催: 川の町でミーティング実行委員会



上段左より、
田中浜
姜泰煥
中段左より、
ジム・オルーク
中村達也
下段、上田宗篁

Photo by Grande HIROSHIMA

本リリースに関するお問合せ先

オリエンタルホテル広島 セールス&マーケティング部 TEL:082-240-9462(直) FAX:082-240-9460

大瀬戸 悠 E-mail:haruka.osedo@oriental-hiroshima.com

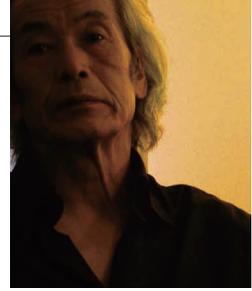
森田 麻水美 E-mail:masumi.morita@oriental-hiroshima.com

※画像のデータをお送りいたします。上記電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。

■川の町でミーティング・野外篇『プレス・パッセージ』 出演者プロフィール

田中 泯（たなか・みん）[ダンス・俳優]

1945年、東京生まれ。70年代初めより独自の舞踊を求める活動に入る。78年、身体気象研究所を創設、舞踊団「舞塾」(81～97年)を結成。85年、山梨県白州町に「身体気象農場」開設。97年山梨県甲斐市に「舞踊資源研究所/桃花村」を設立後、「桃花村舞踊団」「農事組合法人桃花村」同時結成する。05年には場の創設として山梨県甲府市の「桜座」復活に参画。90年フランス政府より芸術文化騎士章、西ドイツ・ミュンヘン演劇祭最優秀パフォーマンス賞を受賞。02年『たそがれ清兵衛』に出演。日本アカデミー賞最優秀助演男優賞と新人賞受賞。現在、ロングラン上映中の映画『永遠の0』の演技も印象深い。<http://www.min-tanaka.com/>



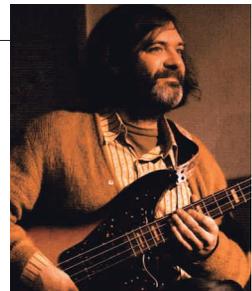
姜泰煥（カン・テファン）[アルト・サクソ]

1944年生まれ。東洋の伝統スケールを折り込んだ循環呼吸奏法の先駆的至宝。小学生からクラリネットを吹き始め、米軍基地内のビッグバンドでジャズと出会いアルトサクソに転向。68年には20代にして韓国最年少のビッグバンドリーダーとなる。78年、金大煥(perc)、崔善培(tp)と韓国初のフリージャズ・グループを結成。近藤等則が企画した「Tokyo Meeting 1985」での来日で日本に存在を知られる。その後もソロで来日し、山下洋輔、高田みどり、富樫雅彦、大友良英や、ジョン・ゾーンを始め海外の演奏家とも共演。07年には高橋悠治、08年、09年、11年、13年と、田中泯、高橋悠治、土取利行を中心としたツアーを行う。<http://breath-passage.com/>



Jim O'Rourke（ジム・オルーク）[ギター、他]

1969年シカゴ出身。10代後半にデレク・ベイリーと出会い、ギターの即興演奏を始める。地元シカゴのバンドやプロジェクトに参加し、「シカゴ音響系」と呼ばれるカテゴリーを確立する。また、マース・カニングム舞踊団の音楽を担当するなど、現代音楽とポスト・ロックの橋渡的な存在となる。アルバム『ユリイカ』を発表し反響を呼ぶ。ソニック・ユースのメンバーとしても活動(05年脱退)。04年にはWilco『A ghost is born』のプロデューサーとしてグラミー賞を受賞。日本文化への造詣も深く、「くるり」のプロデュース、ボアダムス、カヒミ・カリイとのコラボレーションや、若松孝二作品他映画音楽の提供など、様々な活動を行っている。



中村 達也（なかむら・たつや）[ドラム]

1965年富山県出身。原爆オナニーズ、ザ・スターリンなど数々のバンドのドラマーとして渡り歩いた後、90年浅井健一、照井利幸と共にBLANKEY JET CITYを結成。バンド解散後は自身のソロ・プロジェクトLOSALIOSで5枚のアルバムを発表。また洋邦を問わず、ジャズ、アヴァンギャルドなど各界のアーティストたちとのセッションも精力的に行っている。現在の活動はLOSALIOSを筆頭に、FRICTION、TWINTAIL、SPEEDER-Xなど多岐にわたる。俳優としても活躍しており、『BULLET BALLET パレット・パレエ』、『涙そうそう』、『蘇りの血』、NHK大河ドラマ『龍馬伝』(10年)などに出演。<http://www.losalios.com>



本リリースに関するお問合せ先

オリエンタルホテル広島 セールス&マーケティング部 TEL:082-240-9462(直) FAX:082-240-9460

大瀬戸 悠 E-mail:haruka.osedo@oriental-hiroshima.com

森田 麻水美 E-mail:masumi.morita@oriental-hiroshima.com

※画像のデータをお送りいたします。上記電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。

■川の町でミーティング・野外篇『プレス・パッセージ』 出演者プロフィール

上田 宗篁（うへだ・そうこう）[上田宗箇流・若宗匠]

1978年6月19日奈良に生まれ、誕生後すぐ広島へ移る。85年古田小学校入学、91年現・なぎさ中学校へ入学、94年現・なぎさ高等学校へ入学、卒業後上京し、国学院大学へ進学、03年から4年間、東京・上野毛の五島美術館での研修のかたわら、プロダンサーとしても国内外で活躍するなど、紆余曲折を経て07年より広島へ戻り、上田宗箇流十七代になるべく、09年、10年、11年の上田流和風堂特別公開の総責任者として企画を成功させ、現在、若宗匠として活躍中である。



コール・ビビッド [合唱]

2008年2月、安田女子高校音楽部OGを中心に結成された一般女声合唱団。毎週木曜日の18時30分～21時30分に広島市三篠公民館にて活動中。13年、全日本合唱連盟主催の中国合唱コンクールにて銀賞を受賞。

安田女子大学合唱研究会 Vivid Nova（ビビッド・ノーバ）[合唱]

2011年、一般女声合唱団のコール・ビビッドに所属する数名の安田女子大生によって立ち上がった大学公認の新しい合唱団。これまでに、コール・ビビッドとの合唱演奏会の他、大学構内でミニコンサート、広島市安佐公民館で子ども向けの演奏会などを行う。

■川の町でミーティング・野外篇『プレス・パッセージ』 プロデュース



大木 雄高（おおき・ゆたか）[音楽プロデューサー]

1945年広島県生まれ。1960年～70年同時代演劇の作・演出を手がけ、俳優としても出演。1975年東京下北沢にジャズバー「レディ・ジェーン」開店。1979年伝説の「下北沢音楽祭」を企画プロデュース。1980年多目的イベントホール「スーパーマーケット」開館、演劇の街下北沢の魁となる。1985年「ロマーニッシュェス・カフェ」開店、世界のミュージシャンの受け皿となる。以後、独自のイベント企画を実現、今日に至る。

本リリースに関するお問合せ先

オリエンタルホテル広島 セールス&マーケティング部 TEL:082-240-9462(直) FAX:082-240-9460

大瀬戸 悠 E-mail:haruka.osedo@oriental-hiroshima.com

森田 麻水美 E-mail:masumi.morita@oriental-hiroshima.com

※画像のデータをお送りいたします。上記電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。